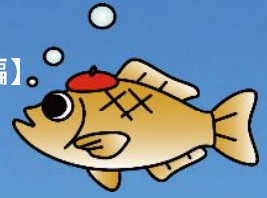


生きもの環境水路評価

～生きもの環境評価ツールを使って身近な水路の環境を考えよう～

【北海道編】



発行／編集 2007年3月 acies (社) 農村環境整備センター

海と河川・水路を行き来する魚など

ウナギ

成魚の体長は
40～90cm



背びれ、尾びれ、尻びれがつながり、腹びれがなく胸びれが大きくて目立つ。

アユ

10～30cm



(提供：細谷和海)

唇が厚く瀬の石についた藻類を削ぐように食べる。

モクズガニ

成体の甲幅は
7～8cm



毛がはさみ脚に密生しており、大型に成長するほど発達する。

河川と水路を行き来する魚

水路と水田を行き来する魚

コイ ★

成魚の体長は
25～60cm



(提供：細谷和海)

口ひげが2対ある。中～下流域の淀みや流れの緩やかな淵、湖沼などに生息。

ギンブナ

10～25cm



(提供：細谷和海)

コイに似ているが体高が高く、口ひげはない。河川の中～下流域、水路、湖沼などに群で生息。

ナマズ ★

30～50cm



背びれが小さく口ひげは2対で1対は短い。湖沼や河川の中～下流域の泥底部や砂泥底部に生息。

タモロコ ★

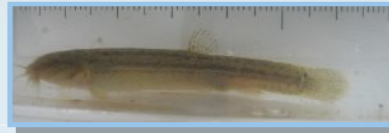
5.5～10cm



体側に薄く一本の線が出る。口ひげがあり、うろこは目立つ。流れの緩やかな水路などに生息。

ドジョウ ★

10～15cm



体は細く、口ひげが5対ある。平野部の水田、湿地、泥底の水路などに多く生息。

メダカ ★★

2～3.5cm



尻びれが幅広く長いのが特徴。流れの緩やかな水路や水田に生息。

★：北海道の水田水辺に生息するこれらの種は、明治以降に水田が作られた後に持込まれ定着したものです。

水路でよくみられる魚

ウグイ

成魚の体長は
12～45cm



繁殖期以外は体色が銀白色で、産卵期には婚姻色で赤い線が出る。河川の上～下流域など広く生息。

エソウグイ

20～25cm



ウグイによく似ているが上あごが突き出ている。河川の上流域の淀みなどに生息。

ヤチウグイ ★

5～12cm



体の側面に小さな黒い斑点がある。平野部の河川や湿地帯の湖沼に生息。

モツゴ ★

5～12cm



口は小さく、やや上向きについている。河川の下流域や水路、ため池に生息。

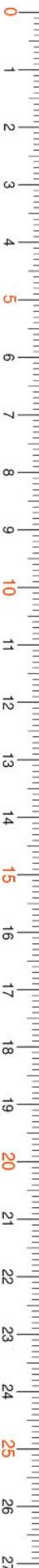
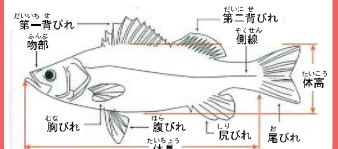
フクドジョウ

15～20cm



口ひげは3対ある。河川の瀬や淵の玉石の下や水草が茂っている場所に生息。

魚の体のなまえ





湧水や冷水及び中山間地域を代表する生きもの

■スナヤツメ ★ 成魚の体長は 15~25cm



水質がよく、流れが緩い泥が堆積する淵と砂礫底の淵がともにある水域に生息。

■ヤマメ 15~30cm



体の側面に上下に長い斑紋模様（パーマーク）がある。上~中流域に生息。

■エゾサンショウウオ 成体の体長は 14~19cm



（提供：北海道開発局 農業計画課）
全身が黒褐色をしており、山麓の森林に生息。

■フクドジョウ 15~20cm



口ひげは3対ある。河川の瀬や淵の玉石の下や水草が茂っている場所に生息。

■イバラトミヨ ★ 4~5cm



胸部と尾びれの付け根の近くにうろこ板という大きなうろこが1列に並び、湧水がある水路や湖沼の岸辺に生息。

■サワガニ 成体の甲幅は 2~3cm



甲羅には毛や突起などなく、滑らかである。水がきれいな沢・小川などの上~中流域に生息。

■エゾホトケドジョウ ★ 4~7cm



頭の形は平らで、尾びれの中央に黒い線がある。流れの緩やかな水路などに生息。

■エソトミヨ ★ 4~6cm



背に10~13本の小さなトゲがある。流れの緩やかな水路や小さな河川、湖沼に生息。

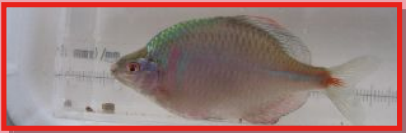
■ニホンザリガニ ★ 成体の体長は 4~6cm



（提供：（財）自然環境研究センター）
すんぐりと丸い体型で、こうらがすべすべしている。河川の上流域や山間の湖沼の、冷たくきれいな水に生息。

水路で見られる国外外来魚

■タイリクバラタナゴ 成魚の体長は 4~7cm



上から見ると体は細いが体高は高い。平野部の河川や水路、湖沼に生息。

■オオクチバス ★ 30~35cm



大きく見ればスズキの仲間で、背びれが第一背びれと第二背びれに分かれる。湖沼や河川の下流域に生息。

■ブルーギル ★ 10~25cm



体高が高く左右に扁平。うろこは大きく表面はざらつく。流れが緩い水路や湖沼に生息。

水路で見られるその他の国外外来生物

■ウシガエル ★ 成体の体長は 15~18cm



日本に生息するカエルの中では最大。背面の皮膚はサメ肌状である。

■カワヒバリガイ ★



（提供：関東農政局 資源課）

ムール貝に似ているが食べられない。暗いところが好きで、足糸を出して石やコンクリートなどに塊になって付着する。

■カミツキガメ ★ 成体の甲長は 20~40cm



（提供：関東農政局 資源課）

ペットとして輸入され、繁殖した。名前の通り噛み付くことがある。

■ウチダザリガニ ★ 成体の体長は 10cm



食用として移植された。全長10cm程に成長し、生後2~3年で成熟サイズに達する。

国外外来生物とは？

国外外来生物とは、外国から日本に持ち込まれたものです。もともといた生きものを食べたり、国内生物と競合するなど生態系に悪い影響を与えます。

★は外来生物法により移動や飼育することを禁止されています。

★は、外来生物法による特定外来種

★は、かつて多く見られたが生息環境の変化により現在では減ってしまったもの（希少種）

★は、本来は生息していなかったが移殖等により生息が確認されたもの（国内外来魚）

